

日本オープンイノベーション大賞 総理大臣賞

弘大COIを表彰 都 内

内閣府などが主催する「第1回日本オープンイノベーション大賞」の表彰式が5日、東京都内で行われた。大規模健診で得られた

ビッグデータを活用し、「寿命革命」を目指すプロジェクトで最高賞の内閣総理大臣賞に選ばれた「弘前大学COI」に表彰状が贈られた。



左藤副大臣(左から3人目)から贈られた表彰状を手にする中路特任教授(同2人目)ら弘大COI関係者(東京・虎ノ門)

同大賞は、企業や大学、研究機関が組織の壁を越えて連携し、技術革新に挑戦する「オープンイノベーション」の模範的な取り組みをたたえるために創設された。作家・池井戸潤さん、向井千秋東京理科大学特任副学長らが選考委員を務め、全国200件を超える応募の中から14件が受賞した。

弘大COIは、弘前市岩木地区で2005年から実施している住民健診で集めた2千項目の健康ビッグデータを活用し、疾病の予測モデルの開発などに取り組んでいる。健康に対する県民の価値観の変化にも貢献している点が評価された。

表彰式では、弘大COI拠点長の中路重之特任教授が左藤章内閣府副大臣から表彰状を受け取った。

中路教授は「短命県返上を目指して取り組んできたが、産官学民が本当に連携しなくては解決できない。今からがスタートであり、受賞を励みに頑張っていきたい」と謝辞を述べた。

(行方知代)